

ヨハネによる福音書 3章1節～15節

私たちが属しているホーリネスの群れは、四重の福音、「新生」「聖化」「神癒」「再臨」信仰を掲げており、特に毎年6月には、強調月間として礼拝をお捧げしています。そこで、本日は「新生」について見て参ります。

「新生」とは、読んで字のごとく新しく生まれる、ということです。人生には様々なことが起こります。また、自分の内側を見つめるならば、悔やむようなこと、拭われないまま残された汚点等を思うと、人生をやり直したい、というような思いが出てくると思います。もし、人生をやり直すことができたなら、考えたことはないでしょうか。しかし、やり直したとしても同じ轍を踏むことしかできない私たちです。人は自分が生きたようにしか生きることはできないといえます。しかし、この私できなくても神様と関係においてなら、やり直しではなく、この私の命が丸ごと全てが変えられて「新しく生まれる」ことができます。自分の努力ではなく、神様の力によって可能とさせて頂けるのです。

ニコデモの勘違い

本日は、ニコデモという人物とイエス様との会話の中から見参ります。彼はファリサイ派に属するユダヤ人の議員で、神の律法に厳格に従い、善いことを行ってきた人物です。所謂、申し分のない人であったといえます。しかし彼は、これまでのイエス様の教えを遠目に見聞きして、自分には何か足りない。聞かなくてはならない教えがあるはずだと考えて、人目をはばかるようにしてでも、イエス様の元に教えを請いに来たのです。2節に記されているように、イエス様の数々の御業の中に、イエス様の弟子たちに「神が共におられる」という明らかなしるしを見て、どうしても教えて欲しいと思ったのです。イエス様の弟子たちとは何かが違う・・・、と考え、もっと善いこと、もっと律法を学ぶこと等。今以上に多くのことを身に着けてないとならないと考えたのでしょう。

そのようなニコデモに対して、イエス様は「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない」(3節)と仰せになりました。つまり、ニコデモがもっと善いこととして、更に善い人間になったら、神に受け入れられ、神と共にいてくださるようになり、神の国にも入ることができる、とは言われなかったのです。あなたに必要なのは新たに生まれることだと言われたのです。そのことが意味するのは、何か足りないのでもなく、人生をやり直すことでもないことを示されました。しかし、そのことを理解できない彼は、「人生やり直せと言われても、母の胎に戻ってもう一度出てこいと言っても言うのか。そんなことできるはずがない」というのです(4節)

神によって

「新たに」と訳されている言葉には、「上から」という意味もあります。「上から」とは「神から」或いは、「神によって」ということで、イエス様がいわんとしていることは、「あなたは神によって新たに生まれなければならない」ということです。具体的に、「はっきり言っておく。だれでも水と霊によって生まれなければならない、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである」(5-8節)。翻つていうならば、人は神によってでなければ新しく生まれることはできないということです。イエス様は神の働きについて、風に譬えられて話され

ました。風は見えないし、捕まえることもできませんが、確かに力はあって私たちが支配できるものではありません。神という方はそのようなお方で全て主権は神にあるということです。

そして、イエス様が仰せになる「水」とは「バプテスマ・洗礼」を指しています。そこには神の霊、聖霊が働かれて、上からの聖霊によって人は新しく生まれる、神の子とされる洗礼式のことを言われています。洗礼を受けるという事は、上から、神の霊によってこの私の命が、丸ごと全く新しくされるということで、やり直しとは違います。ですから洗礼を受けた者は人生をやり直しているのでは、古い自分に死ぬ、古い自分が葬られて、神の子として全く新しい人として生きることになるということです。古い罪に塗れていた命が葬られて、イエス様から新しい命を頂き、神と共に生きる、神の国に入ることができるということです。

ただ、神を見上げる信仰

私たちは自分が神の子どもとして自分はふさわしくないと思うものです。しかし、神が主権を握っており、私たちが判断することではないのです。神が受け入れてくださるから、私たちは神の子とさせて頂けるのです。これは神の特別な恵みによって、特別に神の子とされるのです。その根拠は、イエス・キリストの十字架と復活です。イエス様が十字架において私たちの罪を全て代わりに負ってくださったから、私たちの罪を贖ってくださったから、だからこそ私たちは安心して神の子となることができます。これは神がなされたことだからです。

ニコデモに必要なだったのは、まさにそのことだったのです。教えと戒めを受けてより善い人間になることでもなく、人生を最初からやり直すことなどでもありません。上から新しく生まれること、神の恵みによって新しく生まれること、神の霊によって神の子どもにさせていただくことです。人は神の子とする霊を受けて、神の子として神に信頼し、神を呼び求めながら生きることができるのです。神の子どもとして神の国を見るのです。

しかし、ニコデモは納得できず、「どうして、そんなことがありえましょうか」と。それに対してイエス様は民数記21章から長い答えを返されました(14-15 節)。イスラエルの民は神の救いによってエジプトにおける奴隷生活から解放されました。彼らは、神の言葉を信じてただ仰ぎ見るだけでよかったのです。私たちの罪が赦されるために必要な全てを、既にキリストが成し遂げてくださったからです。このイエス様の成し遂げてくださった救いの御業のゆえに、「あなたは新たに生まれて、神の国を見ることができる。」「あなたは水と霊とによって生まれて、神の国に入ることができる。」ということです。イエス様の十字架と復活を信じる者は皆、イエス様によって新しく生まれて、永遠の命を得ることができる幸いを知ることとなります。